

## IHE-J2004 参加ベンダーワークショップ

10:00開始

1. はじめに (大林) 10min
2. 今年度対象の概要 (吉村) 50min
3. MESAツールについて (渡辺) 60min

(12:00 ~ 13:00 昼休み)

4. コネクタソンについて (吉村) 45min
5. デモンストレーションについて (山本・安藤) 30min
6. 事務手続きについて (大林) 30min
7. 日本版拡張について
  - (1) Query Modality Worklist Transaction (篠田・森村) 45min
  - (2) Order Management Transaction (下邨) 30min
8. 質疑応答 30min

16:30終了



All Rights Reserved Copyright JIRA

## コネクタソン参加社・システム数

	参加社	システム数
2003	20	33
2004	25	48



All Rights Reserved Copyright JIRA

## メーリングリスト

アドレス: [ihe-tech-cnt@jira-net.or.jp](mailto:ihe-tech-cnt@jira-net.or.jp)

メンバー: コネクタソン参加ベンダー連絡者

+

技術検討委員会コネクタソンWG



All Rights Reserved Copyright JIRA

## 参加費払い込み

参加費 30万円/社

請求書発送 2004/12/11(金)

払い込み期限 2005/1/31



All Rights Reserved Copyright JIRA

# コネクタソン会場

JR 総武線利用 東口下車 徒歩5分  
都営浅草線利用 A-6出口 徒歩3分



All Rights Reserved Copyright JIRA

# 会場レイアウト



All Rights Reserved Copyright JIRA

## 「IHE入門」出版の趣意書

2001年12月、厚生労働省が出した「保健医療分野の情報化にむけてのグランドデザイン」アクションプランでは、DICOM/HL7などの規格を標準的な情報交換の規約として実装に努めることが掲げられている。医療機関では、できる限り標準規格を用いたシステム構築が求められ、産業界はできる限り標準規格を用いた製品を構築することが求められている。

このような状況で、IHE(Integrating the Healthcare Enterprise)が提唱されている。IHEは、既存の規格や技術を利用して、より効率的な医療情報システムを構築することである。放射線科領域の情報システム(放射線情報システムやPACS)では、すでにDICOM規格が使用されている。病院情報システムと放射線科領域の情報システムを接続するときには、HL7の規格が用いられている。これらの規格を使用する場合に、規格の実装を詳細に定めているものが、このIHEである。

2001年にIHE-Japanが結成されて以来3年が経過した。この間医療を取り巻く環境は、急速にIT化が進んでおり、医療の現場にIHEを用いて、情報の伝達をより円滑に効率的に行うことが求められている。また、IHEは電子カルテを実現する手段をも提供している。

IHEをよりよく理解し、病院などの医療機関で医療情報システムを導入するときIHEの概念を使用して、より便利に、より効率的にシステムを構築するにはどうすればよいか、この本に述べられている。是非、IHEを利用して、役に立つ情報システムが普及することを願う。

【対象読者】医療情報関連の病院職員。特に、放射線科や医事の職員など。また、診療放射線技師を目指す学生のテキストとなることも可能となるようにする。

2004年10月

IHE-J

運営委員会

委員長 石垣武男

渉外委員会

委員長 安藤 裕



All Rights Reserved Copyright JIRA

## IHE入門目次

章番号	項 目	ご執筆担当者	執筆ページ
1	はじめに	石垣武男	2
2	経済産業省のIHEに対する取り組み	経産省	3
3	IHEのめざすもの	細羽 実	10
	IHE-JはIHEとどこが違うのか		
4	IHEを一言で言うと.....	木村通男	6
5	Technical framework概要	細羽 実	5
	Integration profileとは	細羽 実	5
	ActorとTransactionについて	篠田英範	5
	Radiology	吉村 仁・井桁義一	20
	Laboratory	長谷川茂男	10
	IT Infrastructure	篠田英範・成松亮	10
	Cardiology Cath	清水 学	5
	同 US	大関 毅	5
	同 波形	平井正明	5
6	Technical frameworkの改訂の仕組み	篠田英範	6
7	Integration statement/コネクタソン	安藤 裕	
8	世界のIHE活動		
	アメリカ(RSNA、HIMSS)	安藤 裕	10
	ヨーロッパ	篠田英範	4
	アジア	篠田英範	2



All Rights Reserved Copyright JIRA

## IHE入門目次(つづき)

9	日本のIHE活動		
	運営委員会	大林勇雄	4
	臨床委員会	岡崎宣夫	4
	核医学、循環器などの活動		
	技術委員会 コネクタソン	吉村 仁	6
	各WGの活動を述べる(内視鏡、病理、など)	東福寺幾夫	4
	渉外委員会 CyberRad展示	安藤 裕	6
10	今後のIHEの取り組み	細羽 実	8
11	個人情報保護とIHE	喜多紘一	8
12	IHE サクセスストーリー/システム購入にIHEを使う	江本 豊	6
	ベンダーの取り組みなど	近藤博史	6
		木村通男	6
		松田恵雄	6
		奥田保男	6
資料	IHEをよりよく理解するために		
13	DICOMとは	篠田英範	8
		安藤 裕	8
14	HL7とは	木村通男	15
15	トランザクションで使用されている標準など		
	JJ1017指針	森村晋哉	10
	JAHISデータ交換規約	下邨雅一	10
	IHEで使われているInternet Draft	吉村 仁	10
		合 計	253

All Rights Reserved Copyright JIRA

## 「IHE入門」広告ご出稿のお願い

IHE-J 渉外委員会委員長 安藤 裕

このたびIHE-J渉外委員会の編集による『IHE入門』を2005年2月に、篠原出版新社にて発行することとなりました。

つきまして、『IHE入門』に、広告のご掲載をご検討いただきたくお願い申し上げます。

『IHE入門』は、B5判(天地257mm×左右182mm)、270ページ、本文1色刷、並製、予価は4,500円(税別)です。

広告掲載料金は (千円) (消費税含まず)

	カラー	モノクロ
表2(裏表紙)	250	150
表3	200	100
表4(裏表紙)	350	200
記事中	150	50



All Rights Reserved Copyright JIRA